

平成14年度 第3回
受注登録企業動向調査結果報告書

(平成14年12月末現在)

財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

鉄鋼・非鉄関係	30企業	金属製品関係	45企業
一般機器関係	45企業	電気機器関係	45企業
輸送用機器関係	30企業	精密機器関係	30企業
縫製関係	45企業	樹脂製品関係	30企業

(3) 調査時点

平成14年12月31日現在

（前回調査時点 平成14年9月30日）

(4) 調査方法

調査票（別紙様式）の郵送によるアンケート方式

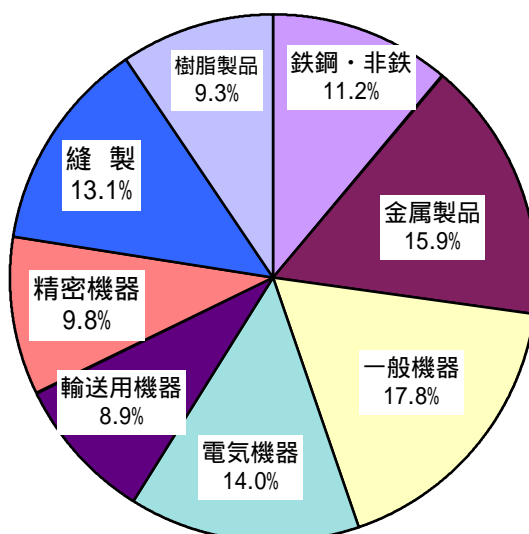
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

調査対象企業数	300企業		
回収企業	214企業		
内訳	鉄鋼・非鉄関係	24企業	(11.3%)
	金属製品関係	34企業	(15.9%)
	一般機器関係	38企業	(17.8%)
	電気機器関係	30企業	(14.0%)
	輸送用機器関係	19企業	(8.9%)
	精密機器関係	21企業	(9.8%)
	縫製関係	28企業	(13.1%)
	樹脂製品関係	20企業	(9.3%)
回収率	71.3%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
個人	22 10.3%	2 8.3%	0 0.0%	1 2.6%	4 13.3%	1 5.3%	1 4.8%	11 39.3%	2 10.0%
～300万円	21 9.8%	3 12.5%	1 2.9%	2 5.3%	3 10.0%	1 5.3%	3 14.3%	6 21.4%	2 10.0%
301～999万円	15 7.0%	1 4.2%	3 8.8%	2 5.3%	1 3.3%	2 10.5%	1 4.8%	2 7.1%	3 15.0%
1,000～2,000万円	121 56.5%	9 37.5%	26 76.5%	25 65.8%	20 66.7%	14 73.7%	10 47.6%	9 32.1%	8 40.0%
2,001～5,000万円	28 13.1%	6 25.0%	4 11.8%	8 21.1%	1 3.3%	1 5.3%	4 19.0%	0 0.0%	4 20.0%
5,000万円超	7 3.3%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	1 5.0%
合計	214 100%	24 100%	34 100%	38 100%	30 100%	19 100%	21 100%	28 100%	20 100%

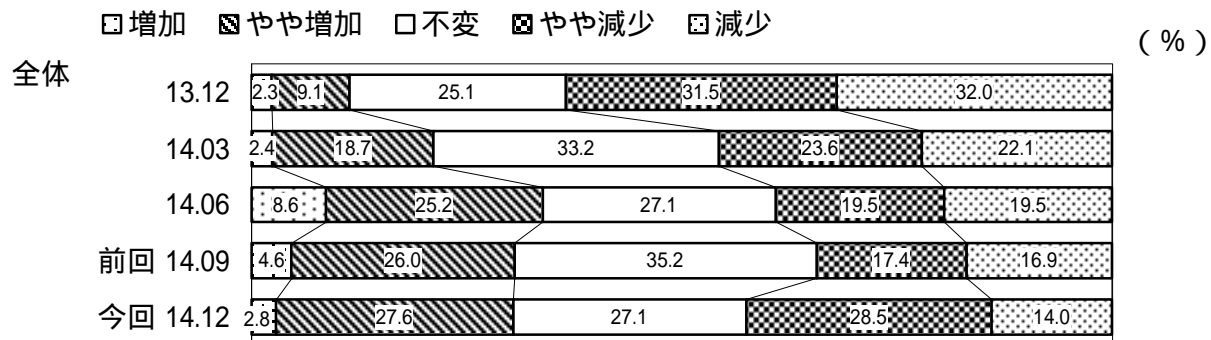
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

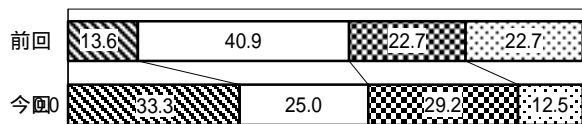
	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
1～5人	38 17.8%	3 12.5%	2 5.9%	3 7.9%	6 20.0%	4 21.1%	3 14.3%	11 39.3%	6 30.0%
6～10人	49 22.9%	8 33.3%	9 26.5%	14 36.8%	2 6.7%	3 15.8%	1 4.8%	8 28.6%	4 20.0%
11～20人	43 20.1%	2 8.3%	12 35.3%	6 15.8%	5 16.7%	3 15.8%	6 28.6%	6 21.4%	3 15.0%
21～30人	35 16.4%	5 20.8%	5 14.7%	9 23.7%	9 30.0%	2 10.5%	2 9.5%	1 3.6%	2 10.0%
31～50人	27 12.6%	1 4.2%	5 14.7%	4 10.5%	3 10.0%	5 26.3%	4 19.0%	2 7.1%	3 15.0%
51人以上	22 10.3%	5 20.8%	1 2.9%	2 5.3%	5 16.7%	2 10.5%	5 23.8%	0 0.0%	2 10.0%
合計	214 100%	24 100%	34 100%	38 100%	30 100%	19 100%	21 100%	28 100%	20 100%

3. 調査結果

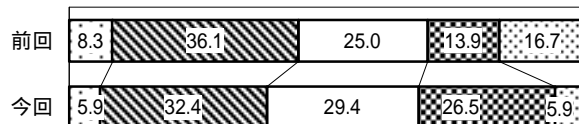
(1) 受注量について



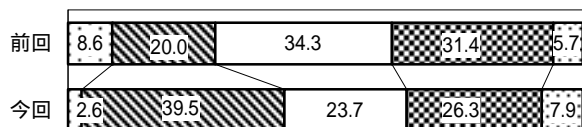
鉄鋼・非鉄



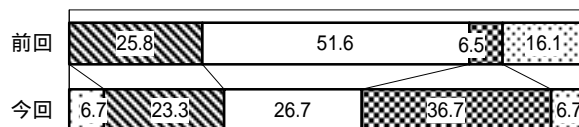
金属製品



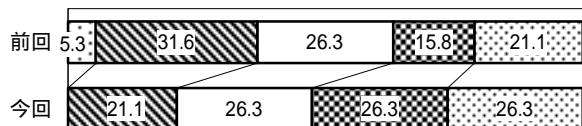
一般機器



電気機器



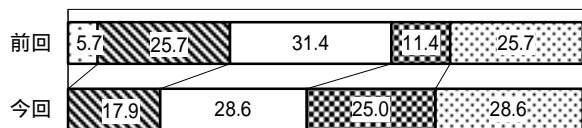
輸送用機器



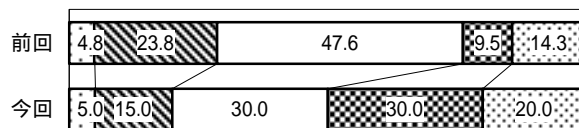
精密機器



縫製



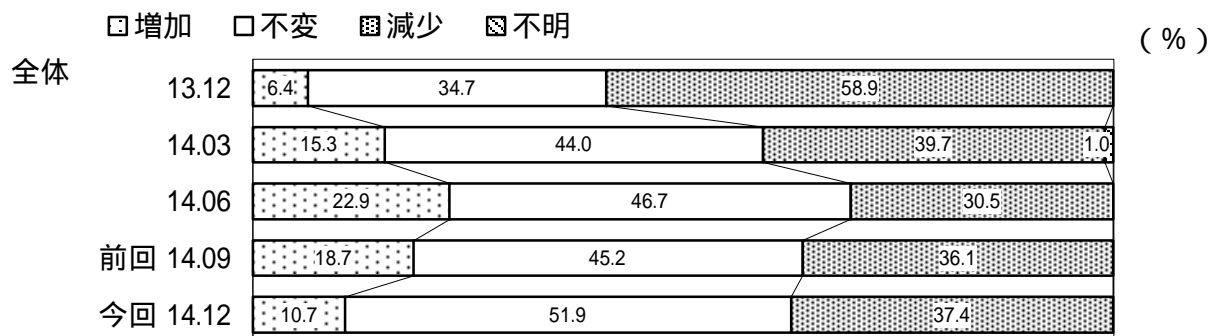
樹脂製品



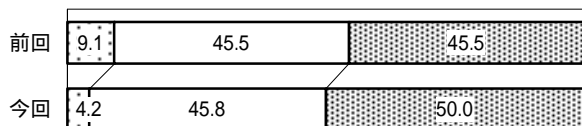
・全体では、「増えた」（増加又はやや増加）とする企業が30.4%で前回調査と比べて0.2ポイント減少し、「減った」（減少又はやや減少）とする企業は42.5%で、前回調査と比べて8.2ポイント増加している。「減った」とする企業が「増えた」とする企業を上回っており、前回調査以降、頭打ち傾向となっている。

・業種別に見ると、今回調査で、金属製品、一般機器を除き「減った」とする企業が「増えた」とする企業を上回っており、前回調査と比べて電気機器、樹脂製品は「減った」とする割合が大幅に増えている。

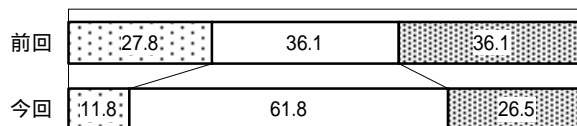
(2) 受注量の見通しについて



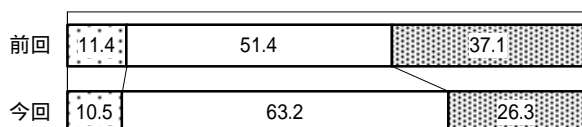
鉄鋼・非鉄



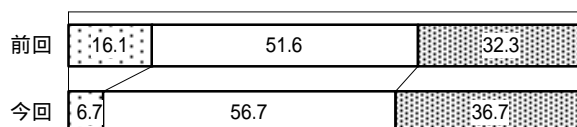
金属製品



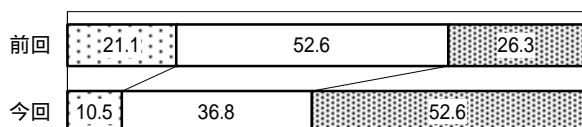
一般機器



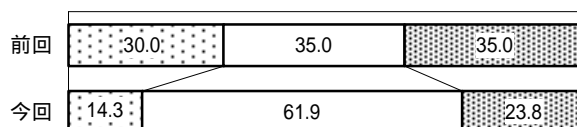
電気機器



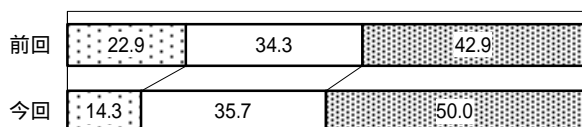
輸送用機器



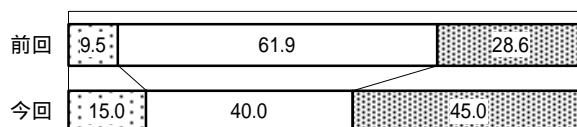
精密機器



縫製



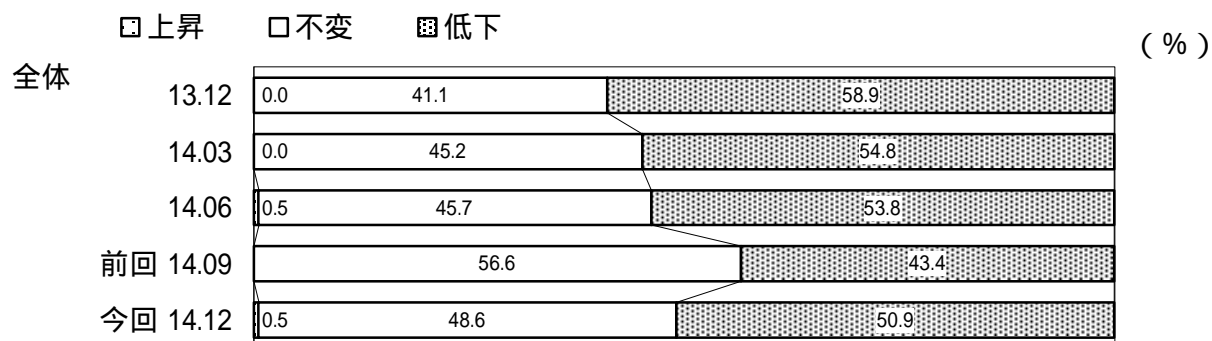
樹脂製品



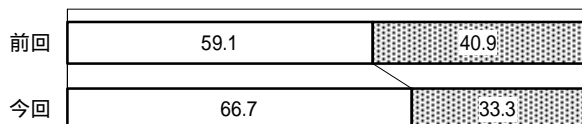
・全体では、「増加」とする企業が10.7%で前回調査と比べて8.7ポイント減少し、「減少」とする企業が37.4%で前回と比較して1.3ポイント増加している。「不変」が5割を上回っており、さらに厳しい見通しとなっている。

・業種別に見ると、全業種で「減少」とする企業が「増加」とする企業を上回っており、とりわけ、鉄鋼・非鉄、輸送機器、縫製では5割以上が「減少」としており、厳しい見通しとなっているが、樹脂製品では、前回調査と比べて、「増加」の見通しが増えている一方で、「減少」も増えており、二極化が進んでいる。

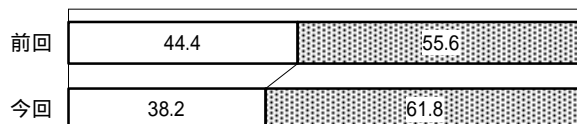
(3) 受注単価について



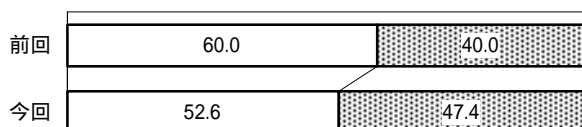
鉄鋼・非鉄



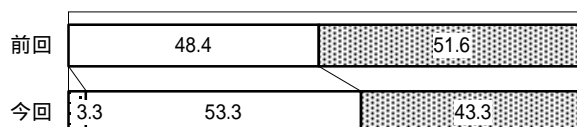
金属製品



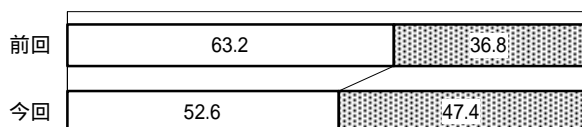
一般機器



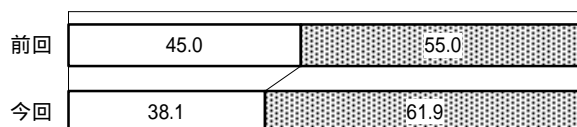
電気機器



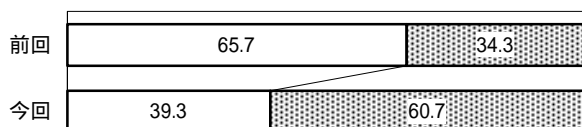
輸送用機器



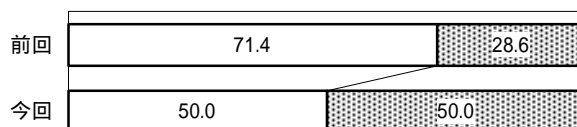
精密機器



縫製



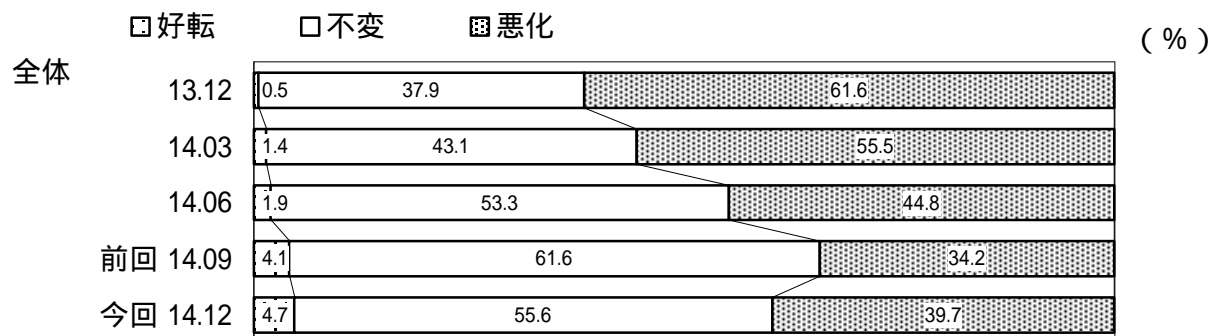
樹脂製品



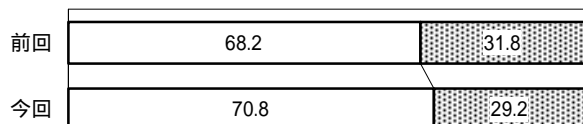
・全体では、0.5%と僅かながら「上昇」が見られるものの、「低下」とする企業が5割以上を占め、「不変」も5割近くあり、依然として厳しい状況が続いている。

・業種別に見ると、電気機器に「上昇」が3.3%見られるものの、各業種とも低下傾向にある。

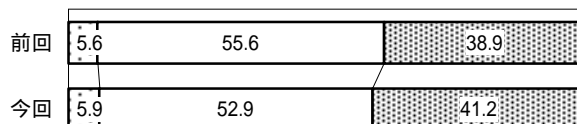
(4) 資金繰りについて



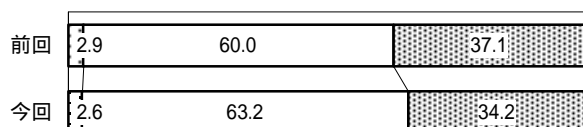
鉄鋼・非鉄



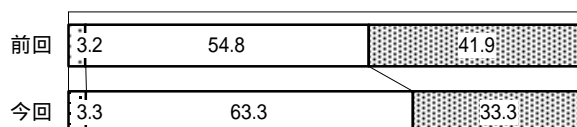
金属製品



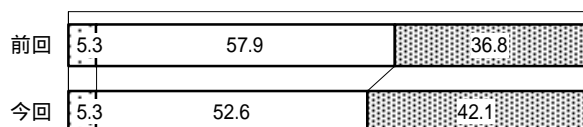
一般機器



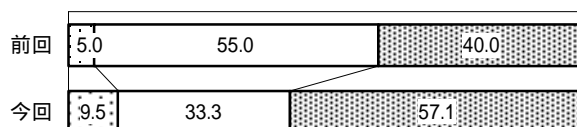
電気機器



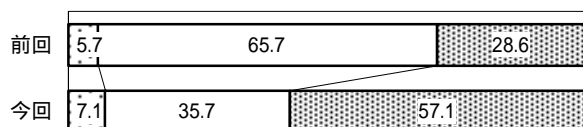
輸送用機器



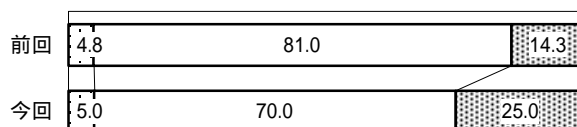
精密機器



縫製



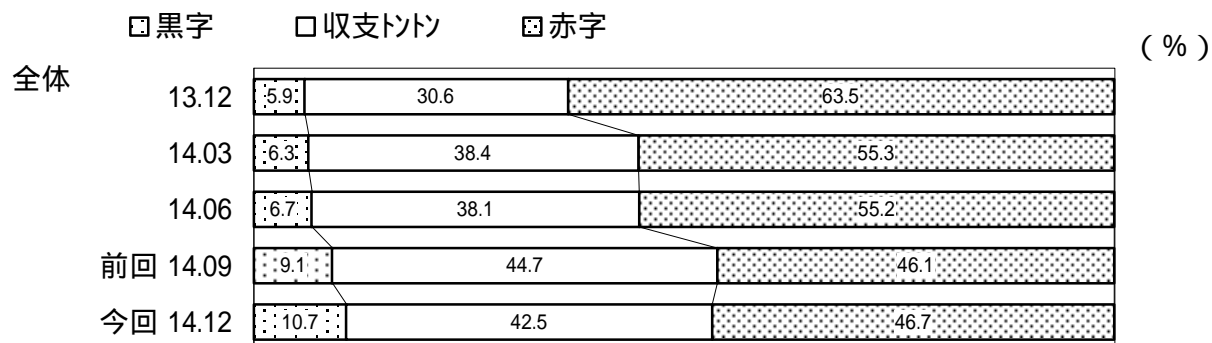
樹脂製品



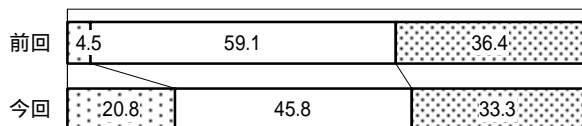
・全体では、「好転」とする企業は4.7%、「悪化」とする企業が39.7%で、「悪化」が「好転」を大幅に上回っている。前回調査と比べると「好転」が0.6ポイント増加しているものの、「悪化」も5.5ポイント増加しており、厳しい資金繰りを強いられている。

・業種別に見ると、金属製品、電気機器、精密機器、縫製、樹脂製品で前回調査と比べて「好転」とする企業が、わずかに増加しているものの、精密機器、縫製で、「悪化」とする企業が大幅に増加しており、非常に厳しい状況である。

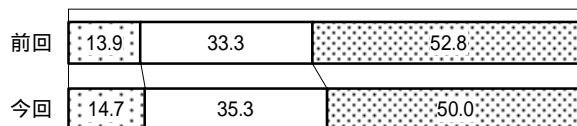
(5) 採算状況について



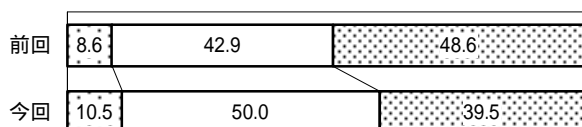
鉄鋼・非鉄



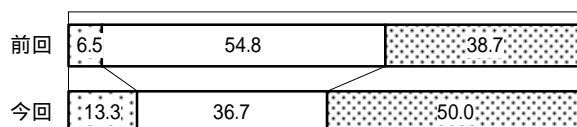
金属製品



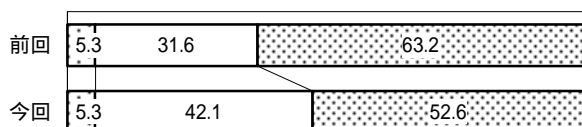
一般機器



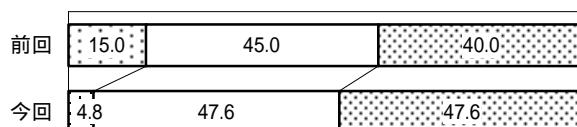
電気機器



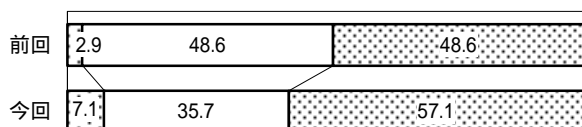
輸送用機器



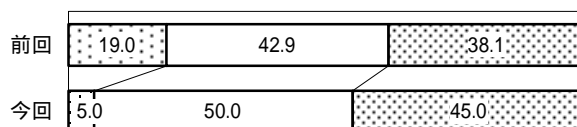
精密機器



縫製

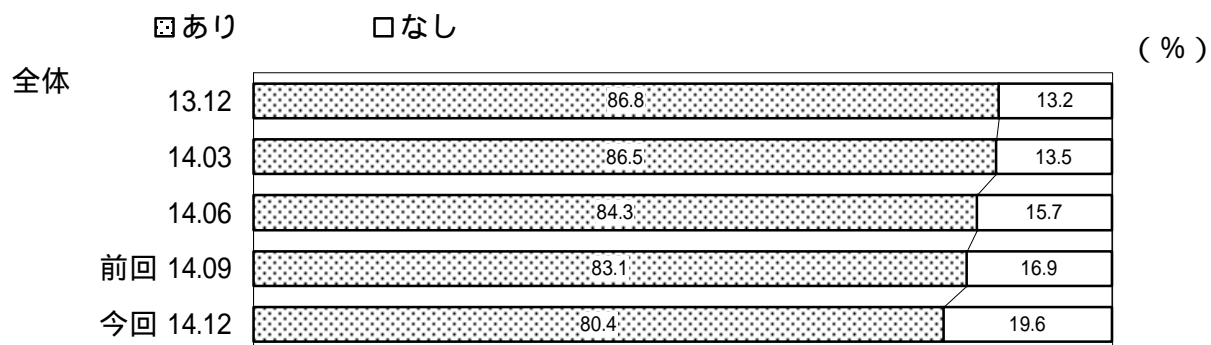


樹脂製品

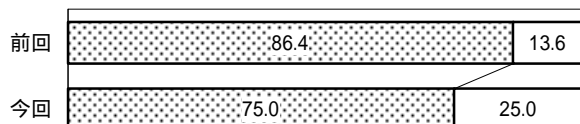


- ・ 全体では、「黒字」とする企業が10.7%で前回調査と比べて1.6ポイント増加しているものの、「赤字」とする企業が46.7%を占めており、依然として「赤字」が「黒字」を大きく上回っており、かなり厳しい採算状況となっている。
- ・ 業種別に見ると、前回調査と比べて、鉄鋼・非鉄、金属製品、一般機器、電気機器で「黒字」とする企業が増加しているが、全業種で「赤字」とする企業が「黒字」とする企業を上回っている。中でも縫製では6割近くが「赤字」としており、厳しい状況が続くものと思われる。

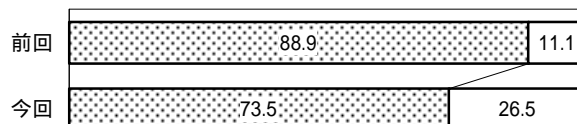
(6) 受注余力について



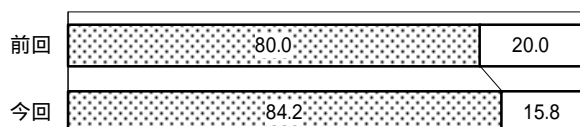
鉄鋼・非鉄



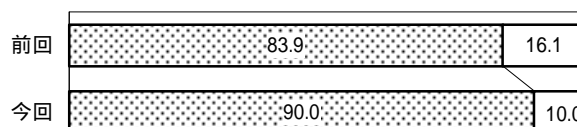
金属製品



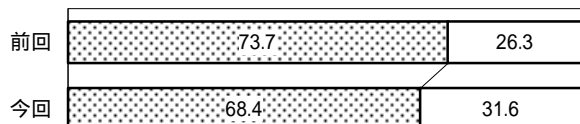
一般機器



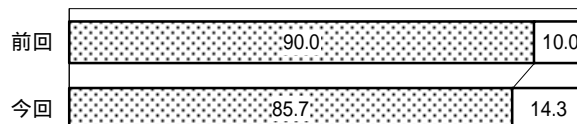
電気機器



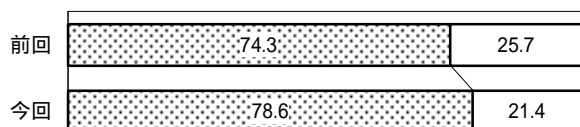
輸送用機器



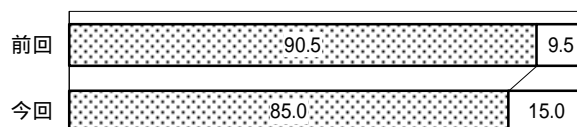
精密機器



縫製



樹脂製品



・全体では、余力「あり」とする企業が前回調査と比べて2.7ポイント減少しているものの、80.4%の企業で受注余力があり、受注確保の難しさがうかがえる。

・業種別に見ると、前回調査と比べて一般機器、電気機器、縫製で、余力「あり」とする企業が増加しており、電気機器では、余力「あり」とする企業が9割に達している。余力「なし」とする企業が増加している業種もあり、ばらつきが見られる。

財団法人 京都産業 21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134 (京都府産業プラザ内)

TEL (075) 315 - 9234 FAX (075) 314 - 4270

E mail : kikaku@ki21.jp

URL : <http://www.ki21.jp>